

タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT1305		
科目名	インテリジェンス概論		
担当教員	小林 良樹		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	木 4		
講義室	1501	単位区分	必
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識と専門技能（60%） H1 論理的思考（20%） I1 理解・分析と読解（20%）		
教員の実務経験	1987年から2019年までの間、国家公務員として、警察庁、外務省、内閣情報調査室においてインテリジェンス業務に従事しました。警察庁においては、カウンターインテリジェンス（第10回）、外務省においては収集及び分析（第8回及び第9回）にそれぞれ従事しました。内閣情報調査室においては、分析及びコミュニティ全体の取りまとめ等に従事しました（第6回及び第9回）。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージと対応 3 進期期～4 発展期		
科目概要・キーワード	本講義は、国家安全保障の一分野であるインテリジェンスに関する学術的な概念や理論枠組みを学ぶとともに、学術理論と実務を融合して理解することを目的とするものです。 インテリジェンスの定義には様々な見方がありますが、例えば、「国の政策判断者（総理大臣、大統領等）が国家安全保障に関わる判断を行う際に、そうした判断を支援するために生産・提供される知識（情勢評価等）」及び「そうした知識（情勢評価等）が生産・提供される政府内の仕組み」と言うことができます。より端的には、「政策決定者が安全保障上の判断を行う際にそれを支援する道具」とも言えます。 本講義で扱う「インテリジェンス理論」とは、「そうした情報を収集・分析・提供するためのメカニズム、組織、技法等はいかにあるべきか」という問題を研究する学問です。換言すれば、「国家における安全保障に係る意思決定のメカニズム」に関する学術研究の一部とも言えます。 授業形態は（講義・実技・実習・演習）形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：インテリジェンス、安全保障、危機管理		

授業の趣旨	■副題 インテリジェンスに関する基礎的な学識を理解し、修得する。 ■授業の目的 インテリジェンスは、国際安全保障、サーバーセキュリティ、治安等を含む危機管理学全般に関連しています。したがって、インテリジェンスに関する基礎的な学識は、危機管理学の様々な分野の学習に取り組むための前提として不可欠と言えます。しかし、「インテリジェンスとは何か？」と質問されて直ちに正確に答えられる人は決して多くないのではないでしょう。本講義を通じて、危機管理学の学びに不可欠なインテリジェンスの基礎的な学識を修得して頂けると幸いです（E1, H1, I1）。 ■授業のポイント 授業の内容は、主に米国で展開されているインテリジェンス理論に関する議論が中心になります。適宜、日本の状況についても議論します。	
総合到達目標	各受講生は、本講義を受講することにより、以下を達成することが期待されます。 ■一般目標 （１）インテリジェンスに関する学術理論上の基本的な概念、考え方等を理解し、自分で説明することができる。 （２）インテリジェンスに関する学術理論上の基本的な論点の所在を理解し、自分で説明することができる。 （３）日常的に発生しているインテリジェンス関連の事案及び関連報道等の背景事情を、学術理論に基づき理解・分析し、自分で説明することができる。 ■個別目標 （４）インテリジェンス関連の実務上の諸問題に関して、学術理論に基づく適切な政策提言を検討し、説明することができる。	
成績評価方法	■ 毎回の授業内でのクイズ（11回実施）：（40%） （適用ルーブリック）E1 60%、H1 20%、I1 20%。（形式等）各授業の冒頭にクイズを実施します（1、8、9、15回を除く）。形式は、ウェブ上での選択式とする予定です。各回の分量は3-5問で、所用時間は3-5分間とする予定です。受験に際しては、教科書及び授業配布資料の参照が可能です。その他の資料の参照（PCやスマホによるネットの閲覧等を含む）は禁止します。（評価の視点）前回の授業のポイントを正確に理解しているか等の点を確認します。（フィードバックの方法）毎回の授業の中で適宜解説を実施します。 ■ 中間テスト（第8回授業）・期末テスト（第15回授業）：（各30%） （適用ルーブリック）E1 60%、H1 20%、I1 20%。（形式等）第8回授業及び第15回授業の中でそれぞれ実施します。形式は、ウェブ上での選択式とする予定です。各回の分量は30問で、所用時間は45分間とする予定です。受験に際しては、教科書及び授業配布資料の参照が可能です。その他の資料の参照（PCやスマホによるネットの閲覧等を含む）は禁止します。（評価の視点）講義の重要ポイントを正確に理解しているか、その内容を踏まえて論理的な思考を行うことができるか等の点を確認します。クイズよりもやや高度な内容を含みます。（フィードバックの方法）テストの後に講義の中で解説等を実施します。 ■ 注意事項 ・自己都合（就職活動、体調不良、パソコンの不具合等を含む）によるテストの未受験に関し、原則として追試等の救済措置は行いません。 ・忌引き、法定の疾患による欠席等大学としての「公欠」が認められる場合は、大学の公式の手続きを踏んだ上で担当教員までご連絡下さい。	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	第1回を除き、毎回の授業では何らかの試験（クイズ、中間試験、期末試験）を実施します。これらの試験はweb上での実施を予定しています。各履修生は、ネット環境に接続可能なパソコン又はスマホを授業に持参して下さい。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ：シラバスの説明、インテリジェンス学習の意義。 ②授業概要： ・シラバスの内容（スケジュール、評価方法等）を良く理解し、履修生としてなすべきことを自分で考える（E1, H1, I1）。 ・なぜインテリジェンス学習が必要なのかを理解し、自分で説明できるようになる（E1, H1, I1）。 ③予習（120分）：教科書第1章を読む。 ④復習（120分）：次回講義におけるクイズに向けた準備をする。
	2	①授業テーマ：インテリジェンスの定義・機能（1） ②授業概要： ・前回授業の内容を確認するクイズ1回目を受験する（E1, H1, I1）。 ・インテリジェンスの定義をめぐる議論、その主たる機能等を正確に理解し、説明できるようになる（E1, H1, I1）。

	③予習（120分）：教科書第2章を読む。 ④復習（120分）：次回講義におけるクイズに向けた準備をする。
3	①授業テーマ：インテリジェンスの定義・機能（2） ②授業概要： ・前回授業の内容を確認するクイズ2回目を受験する（E1, H1, I1）。 ・インテリジェンスの定義・機能に関連する様々な論点の所在とその内容を正確に理解し、説明できるようになる（E1, H1, I1）。 ③予習（120分）：教科書第4章を読む。 ④復習（120分）：次回講義におけるクイズに向けた準備をする。
4	①授業テーマ：インテリジェンス・プロセスに基づく理論体系 ②授業概要： ・前回授業の内容を確認するクイズ3回目を受験する（E1, H1, I1）。 ・インテリジェンス・プロセス（インテリジェンス・サイクル）の概念を正確に理解し、説明できるようになる（E1, H1, I1）。 ③予習（120分）：教科書第5章を読む。 ④復習（120分）：次回講義におけるクイズに向けた準備をする。
5	①授業テーマ：理念に基づく理論体系 ②授業概要： ・前回授業の内容を確認するクイズ4回目を受験する（E1, H1, I1）。 ・インテリジェンスに関連する基本的な4つの理念を正確に理解し、説明できるようになる（E1, H1, I1）。 ③予習（120分）：教科書第3章を読む。 ④復習（120分）：次回講義におけるクイズに向けた準備をする。
6	①授業テーマ：日本のインテリジェンス・コミュニティ ②授業概要： ・前回授業の内容を確認するクイズ5回目を受験する（E1, H1, I1）。 ・日本のインテリジェンス・コミュニティの概要及び特徴を正確に理解し、説明できるようになる（E1, H1, I1）。 ・講義の内容は、担当者の実務経験を踏まえたものとなります。 ③予習（120分）：教科書第6章を読む。 ④復習（120分）：次回講義におけるクイズに向けた準備をする。
7	①授業テーマ：米国のインテリジェンス・コミュニティ ②授業概要： ・前回授業の内容を確認するクイズ6回目を受験する（E1, H1, I1）。 ・日本のインテリジェンス・コミュニティの概要及び特徴を正確に理解し、説明できるようになる（E1, H1, I1）。 ③予習（120分）：教科書第7章を読む。 ④復習（120分）：次回講義におけるクイズに向けた準備をする。
8	①授業テーマ：中間テスト ②授業概要： ・第2回～7回の授業の内容を確認するテストを受験する（E1, H1, I1）。 ・テスト内容に関する解説を聞く（E1, H1, I1）。 ・講義の内容は、担当者の実務経験を踏まえたものとなります。 ③予習（120分）：第1～7回の授業に関する教科書の該当箇所、その他の配布資料、クイズの内容等を確認する。 ④復習（120分）：中間テストで誤った部分を改めて復習する。
9	①授業テーマ：インフォメーションの収集 ②授業概要： ・クイズはありません。 ・収集活動の概要、特徴及び課題等を正確に理解し、説明できるようになる（E1, H1, I1）。 ・講義の内容は、担当者の実務経験を踏まえたものとなります。 ③予習（120分）：教科書第8章を読む。 ④復習（120分）：次回講義におけるクイズに向けた準備をする。
10	①授業テーマ：インフォメーションの分析 ②授業概要： ・前回授業の内容を確認するクイズ7回目を受験する（E1, H1, I1）。 ・分析活動の概要、特徴及び課題等を正確に理解し、説明できるようになる（E1, H1, I1）。 ・講義の内容は、担当者の実務経験を踏まえたものとなります。

	③予習（120分）：教科書第9章を読む。 ④復習（120分）：次回講義におけるクイズに向けた準備をする。
11	①授業テーマ：その他のインテリジェンス機能（1）（カウンター・インテリジェンス） ②授業概要： ・前回授業の内容を確認するクイズ8回目を受験する（E1, H1, I1）。 ・カウンター・インテリジェンスの概要、特徴及び課題等を正確に理解し、説明できるようになる（E1, H1, I1）。 ③予習（120分）：教科書第10章を読む。 ④復習（120分）：次回講義におけるクイズに向けた準備をする。
12	①授業テーマ：その他のインテリジェンス 機能(2)（秘密工作活動） ②授業概要： ・前回授業の内容を確認するクイズ9回目を受験する（E1, H1, I1）。 ・秘密工作活動の概要、特徴及び課題等を正確に理解し、説明できるようになる（E1, H1, I1）。 ③予習（120分）：教科書第10章を読む。 ④復習（120分）：次回講義におけるクイズに向けた準備をする。
13	①授業テーマ：インテリジェンス・コミュニティに対する民主的統制 ②授業概要： ・前回授業の内容を確認するクイズ10回目を受験する（E1, H1, I1）。 ・インテリジェンス・コミュニティに対する民主的統制の制度の概要、特徴及び課題等を正確に理解し、説明できるようになる（E1, H1, I1）。 ③予習（120分）：教科書第12章を読む。 ④復習（120分）：次回講義におけるクイズに向けた準備をする。
14	①授業テーマ：インテリジェンスの新しい課題 ②授業概要： ・前回授業の内容を確認するクイズ11回目を受験する（E1, H1, I1）。 ・インテリジェン諸課題（テロ、組織犯罪、サイバー、経済等）の概要、特徴及び課題等を正確に理解し、説明できるようになる（E1, H1, I1）。 ③予習（120分）：教科書第13章を読む。 ④復習（120分）：次回講義におけるクイズに向けた準備をする。
15	①授業テーマ：期末テスト ②授業概要： ・第9回－14回の授業の内容及び講義全体の内容（第1回－7回分を含む）を確認するテストを受験する（E1, H1, I1）。 ・テスト内容に関する解説を聞く（E1, H1, I1）。 ③予習（120分）：第9－14回の授業に関する教科書の該当箇所、その他の配布資料、クイズの内容等を確認する。 ④復習（120分）：期末テストで誤った部分を改めて復習する。
関連科目	危機管理学概論Ⅰ（RMGT1301）、危機管理学概論Ⅱ（RMGT1302）、安全保障論Ⅰ（RMGT3551）
教科書	小林良樹『なぜ、インテリジェンスは必要なのか』（慶應義塾大学出版会、2021年6月）
参考書・参考URL	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先：ykobayashi@meiji.ac.jp ■オフィスアワー：質問等は、毎回の授業終了後に適宜受け付けます。
研究比率	■危機管理学領域での対応 災害マネジメント20%、パブリックセキュリティ30%、グローバルセキュリティ30%、情報セキュリティ20% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学80%、法学20%

